

北海道遺産
Hokkaido Heritage

北海道遺産・北見市指定文化財

ピアソン記念館

第108号

ピアソン便り

2023. 1.31

発行人：福井 洋之（理事長） 編集人：伊藤 悟（理事）

NPO 法人ピアソン会事務局
（事務局長 伊藤 悟）

〒090-0036

北見市幸町7丁目4番28号

Tel. FAX 0157-31-1215

ピアソン記念館内

午前9:30～午後4:30

e-mail アドレス

pierson@yacht.ocn.ne.jp

日常生活において、幾つあっても足りなくなる物を入れるバッグ。近年はポリ袋がその役割を果たしていましたが、地球環境汚染原因の一つとなっており、現在ではその使用を極力排除する方向で進んでいます。かつての日本文化では、この役割を「風呂敷」という洗練された文化が担っていました。けれど、現在では限られた範囲での文化となつています。

このような社会で、今後ますます期待されるのが、各目的にあつた「エコバッグ」ではないかと、ピアソン記念館「オリジナルエコバッグ」を製作してみました。大きさは、A4サイズの書類や本など、ちよつとした買い物の収納用として、34cm×28cm×5cmという大きさです。片面に、モスグリーン色で「ピアソン記念館」との文字。その下に切り絵タッチで記念館の全景（北海道遺産）。さらに北見市指定文化財と明記してあります。ピアソン記念館宣伝ともなります。頒布500円（原価）



ピアソン記念館「エコバッグ」

三柏のもり



昨年12月23日の大雪で、柏の木が雪の重さで樹冠部分が右写真のようになっていました。柏の木は、冬でも枯葉を樹木につけていることから、武將にとっては縁起のいい木となっていました。雪が降り、雪ではご覧の通りでした。雪を落としてあげると、写真左のように樹冠をすくつと持ち上げ、「北見らしくない湿った雪は勘弁して！」と、言っているようでした。



寄付金受領報告

昨年12月に、市内在住の永井成子さんが来館されました。館内を周れた後に、『ピアソン記念館を管理されているピアソン会へ寄付金を！』との申し出がありました。念のために、『ピアソン記念館への寄付金なのか、ピアソン会への寄付金なのか？（ピアソン記念館への寄付金であれば、北見市への寄付ということになります）』と、恐縮ながらお聞きすると、『ピアソン会活動への寄付金です』との申し出確認ができましたので、『次年度自主事業実施に使用させていただきます』旨をご了解いただき、後日振込にて受領いたしました。

本当にありがとうございます。毎年自主事業実施に伴う資金調達に苦労している会にとっては、本当に嬉しい限りです。グリーンコンサートが再開できれば、その原資にと考えています。

記事訂正お願い!

前回会報107号の1ページ「われ弱ければ 矢嶋桐子伝」上映会、盛大に終了!」記事の4段目（最下段）の7行目程に「漢薬」とあるのを「観客」と、2文字の訂正をお願いいたします。ホームページ掲載会報、送付の一部会報ではすでに修正済みです。

「ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク」
 会員仲間よりの
貴重な矢嶋楯子関連情報提供！②

吉田百合子さんの場合

昨年、6月に開催された「ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク」総会に、当ピアノン会副理事長中山一夫氏夫妻が参加しましたが、その折に『一粒の会』会員の吉田百合子さんとの交流が始まり、9月に次のようなお手紙をいただきました。

2022年9月4日

お便りありがとうございます。嬉しく拝見致しました。

「ピアノン便り」も興味深く読ませて頂きました。ご紹介頂いた井上伝蔵の本(小説「秩父事件」三木静子/著)も、早速ネットで注文致しましたので二、三日の内に手元に届くと思います。楽しみです。

私の亡くなった夫が秩父困民党のことを調べていて、足跡をずっと追っています、いずれ本にしたかと思っていたようでした。夫は山登りもしていたので、埼玉や長野の山奥まで困民党の残党の逃げた跡を調べて、彼は地図に足跡を追ったところに印をつけていたのですが、それが真っ黒になるほどでした。それで、私も井上伝蔵のことを知り、十五、六年前北見に行った時に伝蔵の葬儀を行ったお寺跡に行ったように記憶しています。その少し前、秩父困民党の映画が上映されていて、その映画の

冒頭は伝蔵が北見で臨終を迎える前に家族に自分の本当のことを伝える場面から始まっていたことを覚えていたからです。

矢嶋楯子の映画は半年ほど前に上映されていたのを観に行きました。矢嶋楯子と私の父方の祖父とは明治時代から廃娼運動を通して深く繋がりがありました。祖父は「廓清会」、祖母は「矯風会」で奉仕していました。祖父は大正末期には「廓清会婦人矯風会廃娼連合」の委員長として全国を巡って演説したり、運動の仕方を指導したりしておりました。祖父は楯子の亡くなった後の追悼会で「自分は矢嶋楯子の仕事を完成するため

に働く」と話したそうです。また、祖母は楯子の亡くなる二日前に母ゼリーをお届けすると、両手で手を強く握って下さったという記事が「婦人新報」に載っていました。祖父とヴォーリズとは最初は廃娼運動を通じて知り合ったと思わ

れます。祖父が全国を回っていた時近江八幡ではヴォーリズが迎えたという資料がありました。また、夏の軽井沢や野尻湖でも交流があったとも思われます。軽井沢教会で、ヴォーリズを中心とした集合写真には祖母が写っていました。祖父とピアノン夫妻の出会いがあったかも調べていますが、今のところは見つかりません。廃娼運動では祖父は久布白落実女史と手分けして全国を巡っていたので、

ですが、北海道では落実女史の名前が多く見られるので、彼女が担当していたかと思われます。「あさがきた」の広岡浅子と祖父は廃娼運動の同志でした。大阪では一緒に講演して、暴徒に襲われそうになったこともあったそうです。

また、浅子の娘婿はヴォーリズ夫人満喜子の兄ですね。満喜子の留学先はフィラデルフィアのプリンマーカレッジで、私の母も昭和の初期にその大学に留学しています。戦後、今の上皇様が皇太子時代に家庭教師として就任したバイニング夫人もこの大学の卒業生で、日本で時々その大学の同窓会をする時にはバイニング夫人も満喜子さんともいらつしやつたと母から聞いています。

開所や教会の建設に励みました。それで、私がいいますには、もしかしたら昭和5年まで私の母がフィラデルフィアの大学に居た時に、昭和3年にフィラデルフィアに帰国されたピアノン夫妻にお会いしているかもしれないということです。母の父親が聖公会の司祭で、あったということ、その頃には数少ない日本人という繋がりからです。

長くなってしまいました。本当はお目に掛かつて直接お話し出来たらどんなに良いかと思えます。どうぞ呉々も日々お大切にお過ごし下さいませ。 吉田 百合子

以上紹介のお手紙を、中山副理事長が事務局に持参し、ぜひ会報で紹介しようということになりました。その後、事務局が吉田さんと連絡を取り、お手紙の紹介やお名前を出すことなどご了解をいただき、今回の紹介ということになりましたが、「廓清会」や「婦人矯風会」の歴史的な事跡等の紹介にもなりますので、お手紙では省いている祖父・祖母等のお名前などの補足もあるかと思い、再度連絡し、追加資料を送っていただきました。

【追加資料より】
 ①私の父方の祖父、祖父の名は松宮彌平(旧姓近沢武雄)廓清会理事、「廓清会婦人矯風会廃娼連盟」委員長等。祖母は、松宮志ん、「矯風会・YWCA」で活躍。「婦人新報」他に料理記事等を連載。娘二人は女子

学院卒。
 ②私の母、母の名は、松宮薫子(旧姓伴薫子)、立教女学校、津田塾大、アメリカフィラデルフィアプリンマー大学卒。松宮一也と結婚。青山学院女子短期大学教授等。

③母の父親は、(祖父)の名は、伴君保聖公会東京教区司祭等。

かなり割愛し補記しましたが、このような祖父母さんとピアノン夫妻は、共に同じ目的を持つての廓清会・矯風会活動の集会での同席は間違いのないと思えます。また、母方の父親の聖公会関係では、ピアノン夫人とは大いに面識があったのではと考えられます。また、夫妻が米国への帰国後フィラデルフィアでは、日本からの留学生と交流を密にしておりましたので、吉田さんの母親とはおそらく交流があったのではないかと思えます。何かピアノン夫妻との強い絆を感じざるを得ません。今後も楽しみます。(事務局/編集)

写真/軽井沢でヴォーリズ氏同席写真



講演の思い出

ピアソン記念館「開館30年記念基調講演」2001年

ピアソン夫妻と日本

(1)

師の残したものと

清水 昭典

ジョージ・ペック・ピアソン師が生まれ育った北アメリカは、相反する二つの文化を共有しているように思われます。一方では金銭本位で、悪徳暴力あるいは傲慢で軽薄な生活態度を持っている人々がおり、他方には明るく勤勉で正直、友情に厚い人々が少なくないという事です。

わが国は一八五四(嘉永七)年開国しましたが、明治初年、宣教師フルベッキは岩倉具視ら海外使節団の道案内を勤め、西欧の優れた文化やアメリカの憲法を彼らに紹介した人であります。ウィリアム・S・クラークは、戊辰戦争に敗れて賊軍となり心の荒れた土族の子弟に、狭い藩閥意識を乗り越えて、キリスト教の普遍的世界、平和的な国際社会に生きるように札幌農学校で教えた人でもあります。

ピアソン師もこのタイプのアメリカ人の一人であります。師は一八六一(文久元)年ニュージャージー州エリザベス市に牧師の子として生まれ、プリンストン大学・プリンストン神学校卒業後、宣教師として一八八八(明治二十一年)来日、明治学院で教壇にたった後が伝道的に特権を持ち、その特権の網の目で固められた息の詰まる

道内各地で巡回伝道を行い、その傍ら廃娯運動に尽くしました。一九一四(大正三)年野付牛(現北見)に来て、十五年間この地で布教に務めました。

師が生まれた一八六一年は丁度南北戦争が起こった年ですが、そのころアメリカの社会は農業的な社会から急速に工業社会に移行する激動の時代で、世界中から移民が集まって来て人種の坩堝のような混乱した社会を生み出した社会でもあります。

ただ、師が生まれたニューイングランド周辺の地は、多くのイギリス人が独立自営農民となるべく新大陸に渡り、早くから民主主義的な普通選挙制を取っており、彼らは勤勉できまじめな生活態度を持った人達でありました。

師が生まれる前の年にイギリスの有名な歴史学者サー・W・パジョットが、ニューイングランドの地を訪れた経験から「アメリカでは正直者が貧乏することはない」と言いました。

新世界のアメリカでは、イギリスやフランスのように貴族やジェントルマン(ジャンティオン)達が伝統的に特権を持ち、その特権の網の目で固められた息の詰まる

ような組織がありませんでした。アメリカでは勤勉で知恵と創意工夫をもち、真面目な生活を送れば誰でも成功するというのです。

また『プロテスタントイズムと資本主義の精神』という本を書いたドイツの社会学者マックス・ウェーバーは、この本の中で、アメリカ人の企業家ベンジャミン・フランクリンの自伝を読んで、フランクリンを、独立と自由と勤勉と創意工夫と嘘をつかず信用を重んずる人物、として経済的に成功した理由を説明しております。このように信用と誠実を重んじた生活態度はピアソン師にも見られるところでもあります。

師が野付牛の町に住んで、役場を訪れ「私に対する税金の賦課が過少である」と申告、少しでも税金を逃れようとする人が多い中で、その正直さが町長を驚かせた逸話があります。当時のニューイングランドの地では、これは師ばかりではなくごく当たり前のことでした。その代わりに支払った税がどのように使われるかについての関心が深く、市町村がその税金を汚職や無駄遣いをするようなことがあれば、納税者訴訟という手続きを取って追求する手段が取られたのです。また師がその屋敷を建てるため土地を求めたとき、地主から法外な価格をふっかけられましたが、当時のニューイングランドの地では、掛け値をふっかけず、まっとうな取引が、社会全体の経済を發展させると考えられていたのです。

(次回に続く)

「ピアソン学事始め」

16

この「ピアソン学事始め」は、20年前に街の情報誌に書かれたものですが、少し手を加え年号なども修正し改稿として連載しています。

(16) ピアソン夫妻と札幌農学校

ピアソン会理事 伊藤 悟

北海道大学の前身である札幌農学校の始まりは、明治5年に東京の芝増上寺内に開拓使仮学校を開設したことによります。ここには、官制の女学校も併設されていましたが、3年後札幌に校舎を移転しましたが、その翌年風紀上の問題等が起り廃止となります。

札幌農学校の正式な開設は明治9年の8月になり、その校舎は現在の北一条西二丁目時計台あたりで、今も残る時計台はむかし札幌農学校の演武場であったことは皆さんご承知のことと思います。

ピアソン夫人は、明治31年頃札幌農学校でドイツ語を教えています。この事は北海道大学図書館の北方資料室に残るピアソン夫妻ゆかりの2枚の写真から分かるのですが、その貴重な2枚の写真どちらにも後の作家有島武郎が写っています。写真の添え書きには、明治31年とありますので、ピアソン夫妻がちょうど北星女学校の管理責任者として活躍していた時期とも重なります。

また、この頃は、新渡戸稲造が農学校の教授として在籍していた時期でもあり、札幌の街で農学校の学生たちと盛んにYMCAの活動を行なっていました。



写真/札幌農学校ドイツ語教室。中列むかつて右から3人目が有島武郎。

「ニュージージーランドからの便り」第37回

ピアノン会顧問 グラハム・ハード氏



2022・12・12

◆冬に向かう時期、北見の皆様はお変わりありませんように。こちらは数日來の雨の後、今日は晴天です。皆元気にしています。先日、私たちが皆で姉の孫グレイスとミラが参加して盛り上がったいたスベシャルダンスパフォーマンスを見に行き楽しく過ごしました。

◆ここファンガバラオアでは海岸沿いにポフツカワヘクリスマスツリーが咲き始めています。庭ではジャガイモや豆、ルバーブが茂っています。お変わりなく、グラハム・ハードより

2022・12・27 返信

◆メッセージと興味深い記事、ありがとうございます。「園芸日記」が無事届いて良かったです。年間を通して楽しんでください。姪のリーと夫ティムの家でのクリスマス・ビッグ・ファミリー・ディナー

◆北海道新聞2022.11.28 地域の話題・輝いて道東ひと巡り 梶井敏幸さん

◆また、「流水シーズンにシャトルバス」の記事や「地球の息吹・オンネットウの凍り付く美」へ注・北海道新聞2022.12.9オホーツク面と第1面も楽しみました。それぞれが北見やオホーツク地方での思い出を呼び戻し、私は長年にわたって幸せな満たされた年月の中

◆新年には姉夫婦ジュディとスタン、弟、私で、オークランドのすぐ南ワイウクに小さなファームを持つているスタンの姪ヘレンを訪ねました。よく飼育されている2頭の馬、5頭の牛、12羽の鶏を目にして楽しかったです。

◆今朝は果樹園へ行ってみました。今年のプラムはあまり実らず、少し摘みましたが、美味しかった。リンゴは多くても、3月頃まではかかるでしょう。残念ながら、以前仕掛けた虫除けはうまくいかなかったようです。摘みためたのプラムの写真、3本の別々の木からのとは見えません。

◆暖かくお過ごしください。北見の皆様にごぞ宜しく。

◆いろいろなニュースありますがどうございます。こちらは快適な夏の日々です。先週は豪雨が、北島の東部では洪水や通行止めでした。私は両方とも無事です。ファンガナイは快適で、プラムは思いの外少ないですが、振る舞うには十分です。

◆今日午後、ジャシンダ・アーダーン首相が辞任、という驚くべきニュースがラジオでありました。5年以上も首相という重責を担ってきたことを思えば、今は家族や自身のために休息が必要なのは国民が容易に理解できることです。様々な難事にもリーダーとしてよく尽くしたことは皆が認めることです。今年10月の総選挙を控え、労働党の新代表は間もなく選出されるでしょう。どのような展開になるか興味深いことです。北見の皆様にごぞ宜しく。



写真/喬木 クリスマスの頃赤く満開に。

瞳ふあっひん・瞳けあ

めがねのよっしー

代表 岩井敏忠

〒090-0043 北海道北見市北3条西3丁目

携帯.090-2693-1919 TEL.0157-57-3664

定休日/毎週木曜日・営業時間/10時~19時

編集後記

皆様には、健やかに新春を迎えられたこと、お慶び申し上げます。が、今月末には寒波が日本列島を包みこんで、各地に寒波被害を与えているようです。各家庭での電力量や灯油の消費なども、例年以上というところで、生活面では課題の多い年明けとなりました。

新型コロナウイルス問題も、まる3年の蔓延継続という事で、まだ治る気配もありません。日本でのワクチン開発はどうなっているのでしょうか？基礎研究費投資を怠っていたのでしょうか？あらゆる部門において、日本の基礎研究費削減によるの衰退が露呈してきているように思えます。

ピアノン記念館の「エコバッグ」を作製しました。本を入れたり、ちよっとした買物の入れ物として使用して下さい。製作原価の500円で頒布しています。

今年度の会計も後2カ月となりました。来年度には、4年ぶりのグリーンコンサートが実施できるよう祈るばかりです。

(理事兼事務局長) 伊藤 悟